

## 第 23 回全日本フットサル選手権大会第 22 回長野県大会

### 実施要項

1. 名 称 第 23 回全日本フットサル選手権大会第 22 回長野県大会
2. 主 催 公益財団法人日本サッカー協会，一般社団法人長野県サッカー協会
3. 主 管 長野県フットサル連盟
4. 協 力
5. 期 日 1 次ラウンド： ① 2017 年 10 月 29 日(日)  
② 2017 年 11 月 12 日(日)  
③ 2017 年 11 月 19 日(日)  
2 次ラウンド： 2017 年 12 月 03 日(日)  
準決勝，決勝： 2017 年 12 月 10 日(日)
6. 会 場 1 次ラウンド：筑北村本城体育館(東筑摩郡筑北村西条 3443)  
2 次ラウンド：ホワイトリング(長野市真島 2268-1)  
準決勝，決勝：ホワイトリング

### 7. 表 彰

優勝チームは 2018 年 01 月 20 日(土)～21 日(日)に富山県ありそドーム(魚津市)にて開催される同北信越大会への出場のコリを与え，その義務を得る。また，優勝以下 3 位までに賞状を授与する。優勝チームには優勝カップを与え，次年度大会まで保持せしめる。

### 8. 参加資格

- ① 公益財団法人日本サッカー協会(以下「日本サッカー協会」と記す)に「フットサル 1 種」または「フットサル 2 種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。日本サッカー協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては，同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を，移籍手続きなしに参加させることができる。
- ② 長野県フットサル連盟に加盟登録しているチームであること。なお，事務手続き上の理由で加盟登録前のチームである場合，そのチームの所在地が長野県にあり，過去一年間の活動実績が長野県にあることを証明できなければ参加資格は得られない。
- ③ 第 1 項および第 2 項のチームに所属する 2002 年 4 月 1 日以前に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
- ④ 第 1 項および第 2 項に定めるチームには，1 チームあたり 3 名までの外国籍選手の登録を認める。ただし当該外国籍選手は，IFTC(国際フットサル移籍証明書)により移籍が完了し，出入国管理および難民認定法に定める在留資格を取得しているものとする。なお，外国籍選手はピッチ上に 2 名を超えて同時にプレーをすることはできない。

- ⑤ 長野県フットサル1部リーグおよび2部の各リーグに属しているチーム間において、本大会のために選手を移籍して参加することはできない。ただし、その該当するチームそれぞれが本大会に参加する場合を除く。
- ⑥ 選手および役員は、本大会で別のチームに登録(多重登録)していないこと。
- ⑦ 引率者は当該チームを指導掌握し、責任を負うことのできる者であること。

## 9. 参加チーム数

1次ラウンドは18チームとし、前年度優勝チームに加え、合計19チームとする。

## 10. 競技形式

### ① 1次ラウンド(リーグ戦)：

大会主管元にて事前に抽選した対戦カードをもとに、18チームを3チームずつ6グループに分けてリーグ戦を行う。1次ラウンドの順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。なお、同一グループ内で勝点と同位のため勝者が決定しない場合は、以下の順序により順位を決定する。

- [1] 当該チーム間の対戦結果
- [2] 当該チーム間の得失点差
- [3] 当該チーム間の総得点数
- [4] グループ内での総得失点差
- [5] グループ内での総得点差
- [6] 下記に基づく警告、退場スコアがより少ないチーム(フェアプレーポイント)
  - イエローカード1枚…1ポイント
  - イエローカード2枚によるレッドカード1枚…3ポイント
  - レッドカード1枚…3ポイント
  - イエローカード1枚に続くレッドカード1枚…4ポイント
- [7] 抽選

なお、2次ラウンド進出可能なグループ2位以下の上位5チームを決定する場合は、以下の順序により決定する。

- [1] グループ内勝点合計
- [2] 得失点差
- [3] 総得点数
- [4] 上述したフェアプレーポイントの少ないチーム
- [5] 抽選

## ② 2次ラウンド(リーグ戦) :

1次ラウンドの結果、各グループ1位の6チームと、各グループ2位以下の内成績上位5チームと、前年度大会優勝チームの合計12チームに対し、3チームずつ4グループに分けた2次ラウンドを同一会場で行う。2次ラウンドの順位決定方法は以下の順位により決定する。

- [1] 当該チーム間の対戦結果
- [2] 当該チーム間の得失点差
- [3] 当該チーム間の総得点数
- [4] グループ内での総得失点差
- [5] グループ内での総得点差
- [6] 下記に基づく警告、退場スコアがより少ないチーム
  - イエローカード1枚…1ポイント
  - イエローカード2枚によるレッドカード1枚…3ポイント
  - レッドカード1枚…3ポイント
  - イエローカード1枚に続くレッドカード1枚…4ポイント
- [7] 抽選

## ③ 準決勝および決勝(トーナメント戦) :

2次ラウンドの結果、各グループの1位チーム合計4チームで準決勝を行う。準決勝の勝者2チームで決勝戦を行う。決勝戦の勝者が本大会の優勝チームとなり、敗者は2位となる。準決勝の敗者2チームは3位決定戦を行うことなく、その2チームを3位とする。

優勝チームは、次年度開催予定の本大会シードチームとなる。

## 11. 競技会規定

大会実施年度の日本サッカー協会フットサル競技規則による。ただし、以下の項目については、本大会の規定を定める。

- ① ピッチサイズ：原則として40m×20m
- ② 使用球：大会主管元にて用意したフットサル用ボール
- ③ 競技者の数：
  - 競技者の数：5名以内、交代要員の数：9名以内
  - ベンチに入ることができる人数：13名(交代要員9名、役員4名)
- ④ 競技者の用具：
  - ・ シューズ：使用する大会会場の利用規定による。本大会は、靴底の接地面が紺色または白色もしくはノンマーキング(NON MARKING)の刻印が記された(色不問)シューズとし、ベンチ入りする役員も同様とする。ただし、地域大会以上はこの限りではない。
  - ・ すね当て：必ず着用のこと。また、試合中はストッキング等により完全に覆われていること。試合前の用具確認時、ストッキング等で完全に覆うことが不可の場合、その選手は試合に出場できない場合がある。ストッキングの上からすね当てを固定する目的で使用するテープやサポーター等の色は、ストッキングの主た

る色と同じまたは透明とする。

- ・ 装身具：材質を問わず全ての装身具の着用は許可しない。

⑤ 試合時間：

1 次，2 次ラウンドおよび準決勝：30 分間(前後半各 15 分)のプレーイングタイム。

決勝戦：40 分間(前後半各 20 分)のプレーイングタイム。

⑥ 規定時間内で勝敗が決しない場合の勝者を決定する方法：

1 次ラウンド，2 次ラウンド：引分け

準決勝および決勝戦：10 分間(前後半 5 分)の延長戦(タイムアウトなし)を行う。延長戦でも勝敗が決しない場合は PK 方式を用いて勝者を決定する。

⑦ インターバル：

ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)は，1 次ラウンドおよび 2 次ラウンド，準決勝は 5 分間とする。決勝戦は 10 分間とする。

規定時間内に勝敗が決しない場合の延長戦については 1 分間とする。この延長戦に入る前のインターバルは 5 分間とする。また，PK 方式に入る前のインターバルは 1 分間とする。

⑧ 警告，退場(退席)：

- ・ 本大会期間中に警告を 2 回受けた選手および交代要員は，次の 1 試合に自動的に出場できない。ただし，1 次ラウンドで受けた警告 1 回は 2 次ラウンドに持ち越さない。2 次ラウンドに受けた警告 1 回は準決勝以降に持ち越す。
- ・ 本大会期間中に退場を命じられた選手および交代要員は，次の 1 試合に出場できず以降の処置については，本大会主管元にて決定する。
- ・ 本大会期間中に退席を命じられた役員等は，その処置について本大会主管元にて決定する。

## 12. 参加申込み

- ① 参加希望チームは，日本サッカー協会によるチーム登録を完了していなければならず，「チーム登録情報」として「チーム情報」と「選手情報」を申込み時に提出すること。
- ② 「参加申込書」に必要事項を記載すること。なお，記載し得る選手および役員は，チームへ登録済みであり，その上限は選手 20 名，役員 6 名とする。外国籍の選手は指定欄に○印で表現すること。
- ③ チーム登録情報，参加申込書を大会主管元担当者宛てにメールで申し込むこと。その際，一次ラウンドの希望日を添えること。シードチーム含め，申込み締め切りは **10 月 20 日(金)**とする。
- ④ 大会主管元にて上述した参加申込書を受理後「プライバシーポリシー同意書」をメールで返信するので，自署済みのものを大会当日持参すること。
- ⑤ 必要に応じて「ユニフォーム広告掲出届出書」を用意し，大会当日，日本サッカー協会理事会の承認証も持参すること。
- ⑥ 参加費を下記口座へ入金すること。

入金締め切りは **10 月 20 日(金)**とする。

八十二銀行東和田支店 (店番号 221)

普通口座 4 7 2 8 4 0 長野県フットサル連盟

以上で本大会の参加申込み処理は完了となる。

なお、入金後、チーム都合で大会出場をキャンセルした場合、参加料の返金が行わない。また、指定期日までに入金が無い場合、[参加申込書]を受領しても、キャンセル待ちのチームに参加権利を移譲するので注意すること。

⑦ 大会主管元担当者：

長野県フットサル連盟 理事長 滝澤 正

13. 参加料

1 次ラウンド参加チームは¥20,000とする。

2 次ラウンド進出チームは別途¥8,000-を追加徴収する。

シードチームは¥22,000-とする。

14. 経費

各チームの経費は各チームの負担とする。

15. ユニフォーム

- ① ユニフォーム(シャツ, ショーツ, ストッキング)は、正のほかに副として正と色彩が異なり、容易に判別しやすいユニフォームを参加申込書に記載し、各試合に必ず携行すること（フィールドプレーヤー、ゴールキーパーとも）。
- ② チームのユニフォームのうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものでなければならない。
- ③ シャツの前面および背面には、本大会参加申込書に登録した選手番号を付けること。パンツの番号については付いていることが望ましいが、シャツの番号と異なる番号を付けることは許可しない（番号を付ける場合はシャツ、パンツとも同じ番号にすること）。
- ④ 選手番号については1から99までの整数とし、必ず本大会参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
- ⑤ ユニフォームの色、選手番号の参加申込み処理完了以降の変更は認めない。
- ⑥ ユニフォームへの広告表示については、日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担すること。[ユニフォーム広告掲出届出書]は大会期間中携行すること。
- ⑦ シャツの下に着用するアンダーウェアは、シャツの袖の主たる色と同色のものだけを許可する。また、パンツの下に着用するアンダーショーツは、ショーツの主たる色と同色のものだけを許可する。ゴールキーパーは長いトラウザーをはくことができるが、事前にその色が登録されていることを条件とする。タイツの着用に関しては、アンダーショーツと同義とする。
- ⑧ 交代要員がベンチ内で着用するビブスについて、登録したユニフォームの色と異なる色彩を用意し(登録したユニフォームと異なる色彩を2種類が望ましい)、携行する。
- ⑨ その他の事項については日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に則る。

## 16. 組合せ

1次ラウンドの組み合わせは大会主管元にて抽選とする。2次ラウンドに関しては、2次ラウンド進出チームが参加する代表者会議時に、進出チーム代表者が抽選を行い決定する。

## 17. 代表者会議

参加全チームが参加する代表者会議は行わない。2次ラウンドに進出するチーム 11 チームとシードチームの合計 12 チームが以下の日程で代表者会議を行う。代表者会議に出席できないチームは失格とし、失格によるチームの補充は行わない。

**2017年 11月 25日(土) 17:30～信州スカイパーク体育館 2F 会議室**

## 18. 傷害補償

参加チームはチームの責任において傷害保険(物損対応可能なもの)に加入すること。

## 19. その他

- ① 1次ラウンドおよび2次ラウンドの会場作成は、参加グループの各チームから最低2名の作業員を派遣し、大会主管元の指示に従い効率よく会場作成を行うこと。また、片付けに関しては別途依頼する。
- ② 参加選手および役員について、参加申込み後に変更が生じた場合、1次ラウンドでは変更を認めない。ただし、2次ラウンドへ進むチームに限り、選手に関しては3名、役員に関しては4名を上限に変更を認める。この場合、別途[変更届け]に必要事項を記載し、代表者会議時に[変更届け]を提出すること。参加申込み処理において質問などがある場合は、後述した20.問い合わせ先に確認すること。
- ③ 大会スケジュールを事前に確認し、遅延なく大会運営に協力する事。特に代表者会議、試合前のMCMには遅刻しないこと。
- ④ 本大会の1次ラウンドおよび2次ラウンドの審判は、参加チームに帯同するフットサル審判有資格者2名(内フットサル3級以上1名)が行うので、参加申込み時に帯同審判員を記載すること。仮に帯同不可な場合は参加申込書の帯同審判員欄を空白にし、参加申込書送付時に通知すること。また、帯同審判員不可の場合の審判割り当ては、長野県フットサル連盟より派遣する審判員とし、一試合につき決められたレフェリーフィーを大会当日、チームから長野県フットサル連盟へ支払うことに了承すること。記録は審判無資格者でも対応可能とする。2次ラウンドの主審は長野県フットサル連盟より派遣し、第2審判および副審をチーム帯同審判員に割り当てる。  
レフェリーフィーは以下とする。  
主審(主審もしくは第二審判)の割り当てが不可な場合：1試合 ¥4,000-  
副審(タイムキーパーもしくは第三審判)が割り当て不可な場合：1試合 ¥2,000-
- ⑤ ボールパーソンを参加チームに割り当てる。
- ⑥ 各チームの登録選手は、選手登録電子証明書(写真を貼付したもの)を試合会場に持参すること。不携帯の場合は当該試合への出場を認めない場合がある。
- ⑦ マッチコーディネーションミーティング(MCM)は、前試合のハーフタイム終了直後、各チーム代表者と審判員により実施する。実施場所は大会当日告知する。なお、MCMの際、各チーム代表者はフィールドプレイヤー、ゴールキーパーの正副ユニフォームを着用せず持参すること。また、ユニフォームの色と異なるビブス(2種類が好ましい)を携帯し、持参すること。第一試合のMCMは、第一試合開始40分前とする。

- ⑧ 大会期間中、参加する選手は必ず保険証または保険証のコピーを持参すること。
- ⑨ 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは 0 対 5 またはその時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
- ⑩ 本大会申込み処理完了後、チーム事情などの理由により、大会参加が困難になり参加不可能となったチームは、次年度以降の本大会への参加申込みを認めない場合がある。  
また、参加不可能となったチームへの罰則は大会実行委員会にて協議し、決定する。
- ⑪ 飲水に関しては、ベンチ内のシート上でスクイズボトル等に充填された水のみを許可する。飲水後、ベンチ付近にこぼれた水は、チームが責任を持って拭くこと。
- ⑫ パワープレー要員が着用するシャツは、登録されたゴールキーパーのシャツのみ許可する。
- ⑬ 開会式を準決勝第一試合前に行う。参加チームは前年度優勝チームと、準決勝進出 4 チームとし、優勝カップ返還を行う。
- ⑭ 閉会式は決勝戦直後に行う。参加チームは準決勝進出 4 チームとし、優勝カップ贈呈と 3 位までの賞状授与を行う。
- ⑮ 本大会にて受けた累積警告の内、退場処分については北信越大会へ持ち越す事とする。なお、本大会を敗退したチームが最終試合にて退場処分を受けた者は、別途大会主管元よりその処分の処遇を通達する。
- ⑯ 試合前の公式練習は、キックオフ 20 分前から 10 分間、ピッチ内でボールを用いて行うことを基本とする。しかし大会運営上、キックオフ時刻を優先する理由から、公式練習の 10 分間は担保しない。

## 20. 問合せ先

長野県フットサル連盟 理事長 滝澤 正  
Mail : marcy@mail.nethome.ne.jp  
Tel : 090-2326-3275

以上